

市議会 第2回臨時会

行政報告の概要

最初は、中学校の選抜総会
体育大会が、こしは上越市
で開かれます。従来から、こ
ういう対外試合に出場する場
合、費用を市費から支出して
いました。当初予算に、約八
十万円を計上していましたが、
選手が百五十八人で、しかも
日帰りでないことから、二
百二十万円を必要とします。
これを市備費から支出したい
と思います。

次は臨海工業地帯の計画更
更をするという事を県から
通告をうけました。これは市
にとって重要なことであり、
市長限りにお願い、それを承
諾するという訳にはいかない
ことを回答しておきました。

その内容を説明しますと、
新潟市の太郎代集落地帯は
これまで、東港の臨海工業地
帯の区域に含まれていません
でしたが、今回の計画では、
太郎代部移転し、そこを工
業区域内に含めるといこう
とです。しかも、県では、工
業地帯の総面積は、これまで
以上増やさない計画で、太郎
代地区の増加分の約七、六
十カタールを横土居地区等の周
辺部を縮小して対処する意向
であります。それによります
と、笹山地区から横土居地区
の間、約五十ヘクタールが、
臨海工業地帯から除外される
こととなります。市にとつて
は、唯一の臨海工業地帯であ
り、大きな問題なので、議会
のみならずと一緒に検討すべ
きものと考えます。

第三点は、新発田市佐々木
の鉄工団地に、松影の地積が
約五ヘクタールくらいある
問題です。今度、東港建設
に伴う代替地として、そこに
工場用地を整備するもので、
水道の配管や道路、下水路な
どを計画する予定です。しか
し、豊栄市の地積に手をつけ
る訳にはいかないので、善処
して欲しいというものです。私
としては、形式的には、市が
新発田市へ委託するというこ
とにして、事実上は新発田市
が、思うように工事をすべ
きと考えていました。しかし、
とりあえずは良いにしても、
将来を考えた場合、そこが豊
栄の地であったとすると具合
が悪いので、ほかの土地と
交換して欲しいというもので
す。現在、事務的な検討協議
に入っていますので報告して
おきます。



市議会の第2回臨時会は、7月31日に開かれました。(議場で)

市議会の第2回臨時会は、七月三十一日に
招集され、市営運動場(木崎野球場)の土地
の取得についてや豊栄住宅団地汚水管布設工
事の請負契約についてなどが議決されました。
なお、議案審議に先立ち、市長の行政報告
がありました。
主な議決事件は、次のとおりです。

○ 豊栄住宅団地汚水管の
布設工事契約を締結
新発市住宅供給公社が造成
している豊栄住宅団地の汚水
処理場の汚水管布設工事は、
昨年度から継続工事として実
施しています。その第二期工
事の請負契約が締結されまし
た。

○ 契約金額
一億三、二八〇万円
○ 契約の相手方
株本間組(新潟市)

十月一日は、国勢調査の日です
すすんで
ご協力を

十月一日は、国勢調査の日です。国勢調査は、国勢調査法に基づいて、五年ごとに国勢調査を実施する調査です。この調査により、国や市などの人口規模を明らかにし、行政の運営や計画を立てるに役立ちます。今回の調査は、人口の増減や年齢構成、世帯数の増減、職業や住居の状況など、その実態を明らかにし、今後の行政運営や住居の状況改善の参考にします。今回の調査は、国勢調査法に基づいて、国や市などの人口規模を明らかにし、行政の運営や計画を立てるに役立ちます。今回の調査は、人口の増減や年齢構成、世帯数の増減、職業や住居の状況など、その実態を明らかにし、今後の行政運営や住居の状況改善の参考にします。

市営運動場の土地取得を可決

市営運動場(木崎野球場)用地として、次の土地取得議案が可決されました。
なお、この野球場建設には電源立地促進対策交付金が充てられます。
○ 土地の所在
豊栄市車道字大曾根六〇三

昭和五十四年度の市の各会計決算見込み
が出ました。
この決算は、市監査委員の審査を経て市議会の認定に付されますが、この概要をお知らせします。

一般会計

歳入総額六十九億六千二百九十五万八千円
に対して、歳出総額六十八億一千九百六十八千円、差引一億四千三百八十九万二千円

昭和三十四年度の決算見込み
と前年度(五十三年度)決算との比較では、歳入が一億七、二億、歳出が一億、一億、それぞれ伸びています。
歳出のうち建設事業にあてた経費は、総額の四〇・五割(前年度は三五・六割)に当る二十七億二千五百三十三万

八千円に増えます。
なお、予算総額は、歳入歳出とも六十九億二千八百六十五万五千円でした。

五十四年度の給水状況は、夏期の低温による影響等で、年間有収水量は、前年度と比較し、約十二立方メートルも低下しました。
収益的収支では、収入が四億一千三十七万九千円、支出は三億六千二百八十一千円、差引一億四千七百五十六万八千円の純利益となりました。

予算に計上したけれども、年度内に完成せずに、翌年度へ繰越したもの(駅裏公園用地買収事業、駅裏停車場線第二工区新設工事、道路台帳整備事業、新築・新築増築線舗装事業など)が九千五百七十九万一千円あり、これを除

前年度(五十三年度)決算との比較では、歳入が一億七、二億、歳出が一億、一億、それぞれ伸びています。
歳出のうち建設事業にあてた経費は、総額の四〇・五割(前年度は三五・六割)に当る二十七億二千五百三十三万

八千円に増えます。
なお、予算総額は、歳入歳出とも六十九億二千八百六十五万五千円でした。

五十四年度の給水状況は、夏期の低温による影響等で、年間有収水量は、前年度と比較し、約十二立方メートルも低下しました。
収益的収支では、収入が四億一千三十七万九千円、支出は三億六千二百八十一千円、差引一億四千七百五十六万八千円の純利益となりました。

昭和三十四年度の決算見込み 四千八百百万円の黒字

昭和三十四年度の決算見込みが出ました。この決算は、市監査委員の審査を経て市議会の認定に付されますが、この概要をお知らせします。

昭和三十四年度の決算見込みと前年度(五十三年度)決算との比較では、歳入が一億七、二億、歳出が一億、一億、それぞれ伸びています。歳出のうち建設事業にあてた経費は、総額の四〇・五割(前年度は三五・六割)に当る二十七億二千五百三十三万

八千円に増えます。なお、予算総額は、歳入歳出とも六十九億二千八百六十五万五千円でした。

五十四年度の給水状況は、夏期の低温による影響等で、年間有収水量は、前年度と比較し、約十二立方メートルも低下しました。収益的収支では、収入が四億一千三十七万九千円、支出は三億六千二百八十一千円、差引一億四千七百五十六万八千円の純利益となりました。



工事中です

(工事名、請負者、契約金額、完成予定日、施工地)の順。
○ 早通南小学校体育館建築工事、東急建設(株)北陸支店、二億四千九百七十万円、五十六年三月二十四日、須戸
○ 早通南小学校体育館電気設備工事、桜井電気(株)、一億七千五百五十万円、五十六年三月二十四日、須戸
○ 早通南小学校体育館機械設備工事、北陸建設(株)北陸支店、一億七千五百五十万円、五十六年三月二十四日、須戸
○ 早通南小学校体育館建築工事、東急建設(株)北陸支店、二億四千九百七十万円、五十六年三月二十四日、須戸
○ 早通南小学校体育館電気設備工事、桜井電気(株)、一億七千五百五十万円、五十六年三月二十四日、須戸
○ 早通南小学校体育館機械設備工事、北陸建設(株)北陸支店、一億七千五百五十万円、五十六年三月二十四日、須戸

十四日、笹山
○ 笹山小学校校舎電気設備工事、新井田電業(株)、三千七百二十万円、五十六年三月十四日、笹山
○ 笹山小学校校舎機械設備工事、新井田電業(株)、三千七百二十万円、五十六年三月十四日、笹山
○ 笹山小学校校舎電気設備工事、新井田電業(株)、三千七百二十万円、五十六年三月十四日、笹山
○ 笹山小学校校舎機械設備工事、新井田電業(株)、三千七百二十万円、五十六年三月十四日、笹山

○ 新築甲一号線道路新設工事、新発田建設(株)、四百九十九万円、九月五日、新発田
○ 下土地通学路舗装工事、豊栄道路(株)、二百万円、八月二十九日、下土地
○ 木伏裏道舗装工事、豊栄道路(株)、四百六十五万円、九月二十八日、尾山
○ 新井郷通学路舗装工事、株本建設(株)、二百六十五万円、八月二十九日、新井郷
○ 下通内線三号線工事、丸運建設(株)、二百二十万円、九月八日、下通内
○ 内島見内線七号線舗装工事、阿賀興業(株)、二百五十万円、九月二十八日、内島見
○ 大月内線十号線舗装工事、丸加賀田組、二百五十五万円、九月八日、大月
○ 尾山村中線流排水処理工事、阿部土建(株)、二百七十一万円、九月二十八日、長戸呂

○ 消防積載車庫建築工事、高橋組、四百九十三万円、九月二十八日、十一外四地内
○ 豊栄住宅団地汚水管布設第二期工事、株本間組、一億三千二百八十万円、十二月二十八日、葛塚字柳原(水道事業)
○ 東港企業団豊栄調整池構内配管工事、三井建設(株)、一千二百二十万円、十二月十七日、内島見
○ 第六次拡張事業笹山第九工区配水管布設工事、株本建設(株)、一千六百七十万円、九月二十五日、笹山
○ 配水管移設工事、株本間組、百九十四万円、八月二十六日、内沼沖
○ 長戸呂浄水場濁度PH計設置工事、株本間組、百七十五万円、八月二十九日、長戸呂